

第18回 南和地域病診連携研修会 参加報告

令和8年2月5日(木)、南奈良総合医療センター1階大会議室において、「第18回 南和地域病診連携研修会」が開催されました。本研修会は、南和地域病診連携研修会、吉野郡医師会、五條市医師会の主催により行われ、当院からは、以下の演題にてスタッフが発表を行いました。

先ず、**臨床検査科 中谷 光良**が『当院における感染制御活動の取り組みについて』と題して、院内感染対策の体制や多職種連携による感染制御活動の実際について報告しました。日常業務に根ざした具体的な取り組みや課題について紹介し、地域医療機関との情報共有の重要性を改めて確認する機会となりました。



続いて、**臨床工学技士 高田 秀明**が『終末期腎不全患者に対する入院下での腹膜透析』について発表しました。終末期医療における腹膜透析の位置付けや入院管理下での実践例、多職種との協同体制について報告が行われました。



本研修会を通じて、感染対策及び終末期医療に関する理解を深めるとともに、南和地域における病診連携のさらなる強化の実用性を再認識する有意義な機会となりました。今後も当院では、地域医療への貢献と医療の質向上を目指し、積極的に学術活動・連携活動に取り組んでまいります。